





# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【9月号】

クラブ名	NPO法人 ココロとカラダ健研究会	訪問日	8月11日	訪問者	宮田 大樹
訪問詳細	<p>今回は、周防大島町を拠点に活動しているNPO法人ココロとカラダ健研究会主催事業の『芝生でゴロゴロ水遊び』の視察に行ってきました。屋代ダム公園芝生広場にビニールプールを設置し、参加した子ども全員に配付された水鉄砲での水遊びやヨーヨー釣り、絵の具で自由に落書きができるコーナーもあり、楽しい時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。この事業は、平成22年ごろから開催されており、リピーターも多いそうです。今回は、約70名の参加で、県外からお盆休みに帰省中の親子も参加されていました。</p> <p>このように、競技種目に特化せずに遊び感覚で楽しめるような事業だと運動が苦手な子どもも参加しやすくなると思います。今後も工夫を凝らした事業展開により、クラブが発展していくことを期待しています。</p>		 		

クラブ名	一般社団法人 菊川スポーツクラブ	訪問日	8月23日	訪問者	枳本 祥子
訪問詳細	<p>今回は、菊川スポーツクラブ主催の防災イベントに伺いました。小学生を中心に約70名が参加していました。はじめに、火事・救急を想定した訓練が行われ、実際に消防車や救急車が登場して放水や搬送が始まると、子どもたちはとても興味深そうに見入っていました。その後、「煙が充満した部屋を歩行する煙体験」「消火器体験」「応急手当」「119番通報体験」の4つの防災コーナーを体験しました。最後は、チーム対抗によるバケツリレーが行われました。イベントの最中には、救急車が急遽出動するという場面があり、子どもたちはいろいろな体験とともに、消防士の仕事にもふれることができ、貴重な経験になったのではないかと思います。</p> <p>このイベントは、近隣の消防署や地域の皆さんと一緒に開催されています。クラブ設立から11年目を迎え、様々な活動を通して、地域との信頼関係を築いてこられたのだと感じました。今後も地域と一体となった活動に注目したいと思います。</p>		 		

## ☆レッツ！オリ・パラ☆



2020年  
東京オリンピックまで

**1036日**

※平成29年9月22日現在

サーフィン競技は、波を乗りこなすライディングの点数によって勝敗を決めます。選手が波に乗り、難易度が高く創造性や革新性に優れた技を行い、一本のライディングの中で、いかにバラエティー豊かな技を繰り出すかを総合して複数の審査員が採点し、得点を決定します。そして、各選手が競技時間内に獲得した得点の中から、2本の高得点の合計点により勝敗を決める競技です。高得点を出すためには、技の組み合わせによるライディングの流れるような美しさ、そして波の上を滑る際のスピードとパワー（力強さ）が必要となります。特に革新的なライディング、難易度の高いライディングは高い点数が付く確率が高くなります。

オリンピック種目としては、東京大会で初めて開催されるサーフィン競技ですが、日本人選手では、五十嵐カノア選手が世界でも最大級の大会であるUSオープンで優勝しており、東京大会での金メダル獲得が期待されています。

国体の種目にサーフィンはありませんが、ウィンドサーフィンという競技が実施されているのはご存知ですか？山口県スポーツ交流村を拠点に活動し、団体上位入賞を狙っている山口県選手の活躍が期待されます。